

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 High Energy ハイエナジー	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.50	ΔRG 0.060	●ピン ★PAP ✕CG ●バランスホール

テスト対象ボール

フレアーの幅: inch

PAP-ピンの距離 5 1/4 inch

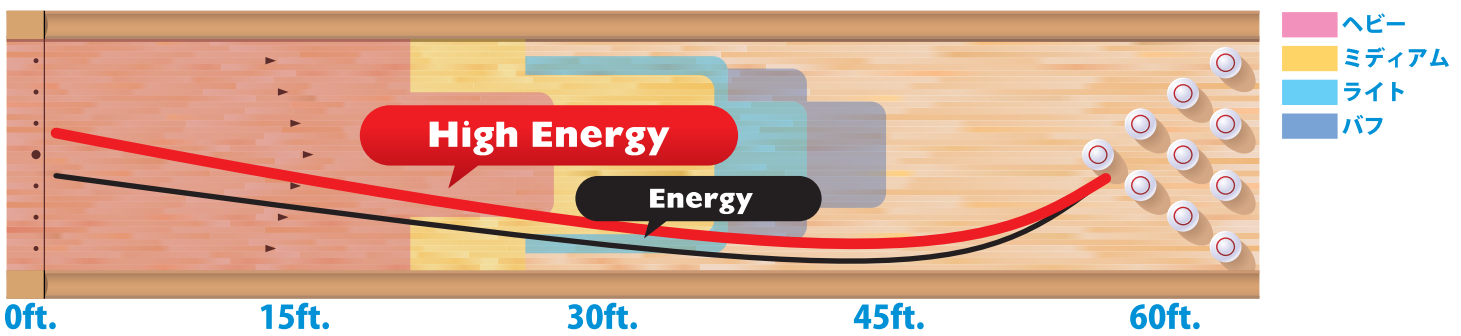
表面加工
箱出し状態 加工
ペーパー 番 ポリッシュ
 研磨剤

比較用ボール

エナジー

PAP-ピンの距離 5 1/4 inch

表面加工
箱出し状態 加工
ペーパー 番 ポリッシュ
 研磨剤



ローリングタイプ (ローラー) 回転数 (回転)

レーンコンディション: 早い / 遅い

手前のコンディション: オイル厚い / オイル薄い

奥のコンディション: キャリーダウン / かなり切れている

オイル長さ **41f**

メンテナンスマシン
サンクション ツインスター シャトル 手引き
その他

ボールの評価

スキッド長さ: 長い / 短い

手前の転がり: よく転がる / 空スベリ

バックエンドリアクション: SHARP / ARC

曲がり幅: 大きい / 小さい

ピンアクション: 良い / 悪い

安定度: 良い / 悪い

キャリーダウン: 強い / 弱い

オイルキャッチ: 強い / 弱い

カバーストックの違いはもちろんのこと、表面加工の差もあり、ハイエナジーの方がスキッドは短い。双方とも転がり感に差はなく、良く転がる。ハイエナジーは手前からのトラクションが強く出ており、曲がるボールに良く見られるオイルの薄いところに早めに当たると全体的に動きがボケて曲がり得られない傾向がある。曲がり幅は大きく、ストロングアークの曲がり。最後まで終わらない力強い軸移動、その曲がりに加え、重く重量感を伴い、特に薄めのアクションは必見であることが、このボールの特徴と言えるでしょう。オイル上での安定感が非常にあり、キャッチしながらの転がり感を得られるため、手前のオイルがしっかりしたコンディションで投球するのが好ましく、リアクション性能から考えると、長くオイルを使用することにより、安定したパフォーマンスを得られるでしょう。オイルキャッチ、キャリーダウンにも強さを感じるので、曲がり得たいボウラーには是非使用していただきたいボールです。若干だが、ボール自体にフレグランス系の匂いを感じ、ダイノタンのボールでは初めての試みになります。現行のエナジーはシャープさを伴い、メリハリの効いた曲がり。ハイエナジーはオイルをものともしない安定した曲がり。エナジー特有の良いピンアクションは違ったカタチで継承されており、大ヒットを予感させるボールに仕上がっています。

特記事項 オイル上での安定感、そして重量感があり、薄めのピンアクションは必見です。曲がりをお求めている方、ピンアクションの良いボールを探している方は、是非、お買い求めください。